

私たちは
誰なのか。

WHO ARE WE

観察と発見の生物学

国立科学博物館収蔵庫コレクション | Vol. 01 哺乳類

2021年7月22日[木・祝] —— 9月12日[日]

開館時間 = 10:00 — 19:00 ※金曜日・土曜日は20:00まで(入場は閉館の30分前まで)

会場 = 大分県立美術館3階 コレクション展示室



WHO ARE WE 観察と発見の生物学

国立科学博物館収蔵庫コレクション | Vol. 01 哺乳類

国立科学博物館の収蔵庫には、およそ480万点ほどの膨大な数の標本が保管されていますが、その多くは普段は公開されていません。この展示では、その収蔵庫の中から世界屈指の動物標本コレクションとして知られる「ヨシモトコレクション」を中心に、選りすぐりの哺乳類などの標本を紹介するものです。

生物の形は長い進化の歴史の成果です。それはその時代の環境に対しての一つの解であり、動物の剥製はその歴史の「ある一時」を切り取った姿です。剥製となった動物が生きた環境には、その生息地における気候、地形、天敵や捕食対象、寄生虫、共に生きる同種他個体などがそこに含まれます。剥製を観察することで、環境への適応による動物の生き様や多様性の複雑さ、そして自然が創り出した美しさを知ることができます。

テーマは「観察の眼、発見の芽」です。“声なき標本たち”的姿を通して、見つめる眼（観察）と見つける眼（発見）を育み、他の動物との意外な共通点、私たちの日常とのつながりなど、標本にまつわる学びや問い合わせができる展示となっています。

動物の剥製1点1点を美術作品のようにじっくりと観察するという展示方法で、来館者と剥製の新しいコミュニケーションをつくります。ここで標本に付帯するのは、解説ではなく、観察するための「視点」の提示です。それは展示を体験する人を「自分なりの気づきを得られる体験」、誰もに享受してほしい「新しい発見や驚き」へと導きます。観察の視点を持ち、発見の体験を通じて、私たちと動物とのつながり、自然とのつながり、世界とのつながりを感じてもらいます。



イラスト：巡回展キットのイメージ



写真：自然史標本棟

大分県立美術館での開催概要

【巡回会場】大分県立美術館 3階 コレクション展示室

【会期】2021年7月22日(木・祝)～9月12日(日)

【開館時間】10:00～19:00 ※金曜日・土曜日は20:00まで（入場は閉館の30分前まで）

【観覧料】一般300円／小・中・高校生200円

- ・大分県芸術文化友の会 びびKOTOBUKI無料、TAKASAGO無料
- ・障がい者手帳等をご提示の方とその付添者（1名）は無料。
- ・学生の方は入場の際、学生証をご提示ください。

【主催】公益財団法人大分県芸術文化スポーツ振興財団・大分県立美術館

【特別協力】独立行政法人国立科学博物館

【後援】大分県、大分県教育委員会、大分合同新聞社、西日本新聞社、朝日新聞大分総局、毎日新聞社、読売新聞西部本社、NHK大分放送局、OBS大分放送、TOSテレビ大分、OAB大分朝日放送、エフエム大分、J:COM大分ケーブルテレビ

【企画編集・デザイン】日本デザインセンター 三澤デザイン研究室

学術監修

国立科学博物館 動物研究部 研究主幹

川田 伸一郎（かわだ しんいちろう）

1973年、岡山県生まれ。国立科学博物館動物研究部研究主幹（農学博士）。

専門はモグラ研究。名古屋大大学院博士課程入学後のロシア留学で

標本作製に目覚め、職を得た同館の資料充実に奔走する。

著書に『モグラ博士のモグラの話』、『標本バカ』、『アラン・オーストンの標本ラベル』などがある。



オンライン講演会「標本工場へようこそ」

(※会場にお越しいただくイベントです。オンライン配信はありません)

【講師】川田 伸一郎（国立科学博物館 動物研究部 研究主幹）

【日時】7月31日(土) 15:00～16:30

【会場】大分県立美術館 2階 研修室・アトリエ

【定員】70名 【参加費】無料（要事前申込）

【募集期間】7月1日(木)～7月30日(金)

【申込方法】お申込み受付期間（7月1日～7月30日）中に、お電話（097-533-4500）またはapp@opam.jpへ、件名にイベント名、メール本文にお名前とご連絡先をご記入の上、お申込みください。定員に達し次第、締切とさせていただきます。

<https://www.opam.jp/events/detail/972>

本展に関するご取材は、下記担当窓口までお問い合わせください。また、本展に関する情報のご掲載、画像の使用については、別添の広報用画像申請書に記載された使用規定をご確認の上、担当窓口までご連絡ください。

WHO ARE WE 観察と発見の生物学 国立科学博物館収蔵庫コレクション | Vol.01 哺乳類

<https://www.opam.jp/exhibitions/detail/725>



WHO ARE WE 観察と発見の生物学

国立科学博物館収蔵庫コレクション | Vol.01 哺乳類

＜広報用写真提供＞

広報用として写真をご用意しております。

【記事利用の際のお願い】

- * 写真使用は本展の紹介のみとさせていただきます。本展終了後の使用はできません。
- * 写真掲載時には、資料のクレジットを必ずご記載ください。(提供: 国立科学博物館 写真: ©Gottingham)
- * 記事のなかで、会期、入館料、開館時間などの基本情報をご掲載いただく場合は確認のため、校正の段階でお送りください。
- * ご掲載いただいた場合は、掲載誌等をお送りくださいますようお願い申し上げます。



1. 自然史標本棟 動物剥製
(写真: ©Gottingham)



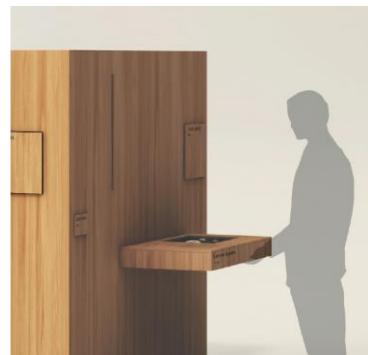
2. 自然史標本棟 動物剥製
(写真: ©Gottingham)



3. 自然史標本棟 動物剥製
(写真: ©Gottingham)



4. 巡回展キットイメージ



5. 展示什器イメージ



6. 展示什器イメージ

問い合わせ : 公益財団法人大分県芸術文化スポーツ振興財団

大分県立美術館 学芸企画課 吉田・梶原／管理課広報担当 渡邊・植木・土屋

Tel 097-533-4500 E-mail:info@opam.jp